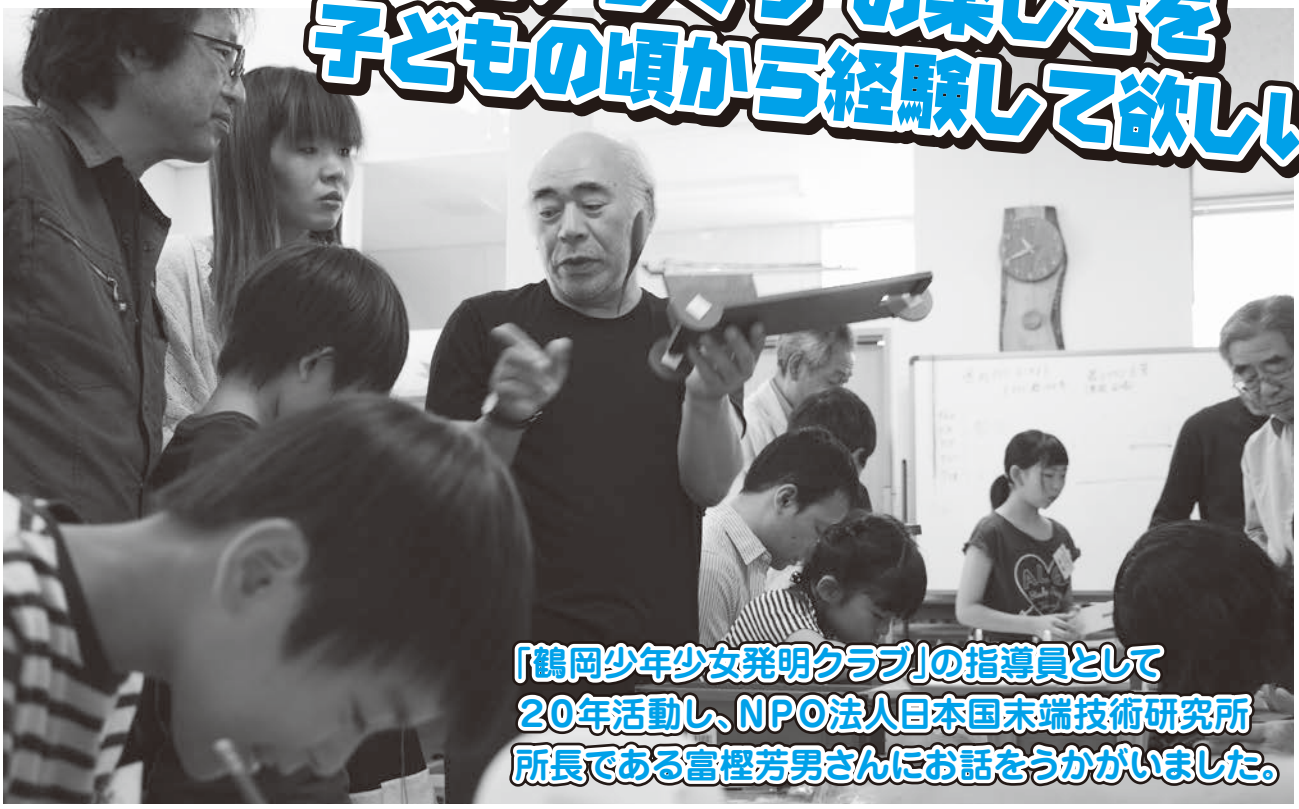
鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第71号
平成29年
8月1日発行

モノづくりの楽しさを子どもの頃から経験して欲しい



「鶴岡少年少女発明クラブ」の指導員として20年活動し、NPO法人日本国末端技術研究所所長である富樫芳男さんにお話をうかがいました。

NPO法人日本国末端技術研究所とは？

子どもから大人まで楽しめるモノづくりの拠点として平成28年5月にNPO法人化した団体です。

○「鶴岡少年少女発明クラブ」での活動支援

毎月第2・4土曜日、小中学生が自分で考えながらモノづくりを経験できるよう、指導員として支援しています。

○おもちゃの病院

毎月第3日曜日、イオンモール三川でおもちゃの診療（修理）を行っています。

○子どものモノづくり体験・出前講座

○「大人のモノづくり」開催

<問い合わせ先>
NPO法人日本国末端技術研究所
鶴岡市日本国254-6秋山鉄工㈱日本国工場内
☎090−1496−8096（所長　富樫芳男）

発明クラブ指導員、おもちゃの病院ドクター募集中です。活動の詳細は、インターネット検索「末端研」でご覧いただけます。

・この団体が目指していることは何ですか？

今は、子ども達がモノづくりを経験できる場がありません。私は製造業にかかわってきた者として、小さい頃のモノづくり経験は将来の大きな力を育てることだと考えています。「日本国末端技術研究所」という名称には、どんなに素晴らしいモノも先端技術だけではつくれない、多くの末端技術も必要であるという思いを込めています。ここからニッポンのモノづくりを支える人材が育ってくれることを期待しています。

・やりがいを感じるのはどんな時ですか？

発明クラブやモノづくり体験に参加した子ども達の中には、工業系への進路を決めるきっかけになった子や、たった１回の出前講座のことを覚えていて数年後声をかけてくれる子もいて、ここでの経験が子ども達の心に印象深く残っていることはうれしいです。

シリーズおじゃまします　第8回

第六学区

一歩一歩 前進あるのみ！ 皆で支える六学区

市内の地域福祉活動を紹介するシリーズ

第六学区は、12の町内会で構成され、人口11,771人、高齢化率は29.2％となっています。（平成29年3月31日現在）

平成28年4月に第六学区の社会福祉協議会、コミュニティ協議会、町内会連絡協議会の三団体が、各種事業の推進体制の強化と充実を図ることを目的に、「第六学区コミュニティネットワーク」として新たにスタートしました。

これまでの学区社協事業については、社会福祉部が中心となり、加速する高齢化に対応するため、「高齢者を支える地域づくり」を目指して「ゆったりカフェ」を含む各種事業に取り組んでいます。

高齢者を支える人材育成と見守り体制の充実

第六学区では、学区社協が平成22年から「認知症高齢者にやさしい地域づくり」を目指し、地域の高齢者を見守ってくださる方々のお宅や商店を載せた支援マップを作成し、全戸配布するなどの活動を行ってきています。こうした流れを汲んで、昨年度からは「高齢者を支える地域づくり」を新たな目標に掲げ、「高齢者の見守り体制の充実」と「高齢者を支える人材育成」を2本の柱として、安心カードの設置や金融機関との情報交換会、学区内の薬局職員や小学生まで巻き込んだ認知症サポーター養成講座の開催に加え、新たに「ゆったりカフェ」をはじめました。

地域の高齢者を孤独にさせないために

今後、更に増加すると見込まれる認知症高齢者やその介護者のための支えや見守りを充実させる仕組みとして、また認知症サポーターの活躍の場として始まったのが、「ゆったりカフェ」の活動です。

◆カフェってどんなところ？

「ゆったりカフェ」は、地域の方なら誰でも気軽に集える居場所としてオープンしています。昨年10月から試行的に開催してきたこのカフェは、今年5月から隔月（奇数月）の第2水曜日に第六コミセンで10時から12時まで定期開催しています。

コーヒーや紅茶、ちょっとしたお菓子を食べながら、友人やスタッフとの会話に花を咲かせたり、手品や歌の余興を楽しんだり、心がゆったりするような温かい雰囲気に包まれています。

子どもから高齢者までいろんな人が集います

◆参加者からの声

一人暮らしの高齢者の方は、「思い切って参加して良かった。悩みが少し改善された。カフェに来て話すことで、気持ちが安らぐ。」と話していました。

また、認知症の高齢者を介護している家族の方は、「愚痴を聞いてくれる人がいることでゆっくりした。充実した時間を過ごすことができた。」と心が軽くなった様子を話していました。

第六学区のこれから

第六学区では、これまで地域の皆さんの互助の精神や優しさに助けられながら事業を行ってきました。これからも地域の皆さんが安心して暮らせるように、地域の声を受けとめながら地域づくりを進めていきます。

福祉クイズ

上のイラストの車イスのマークと合う説明文を選んでね

（次頁の左側へ）

平成28年度 事業報告と決算報告

少子・高齢社会の一層の進展や人口減少並びに過疎化、小家族化などにより地域や家庭の様相は大きく変化し、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、社会的孤立などの様々な地域課題・福祉が多様化、深刻化してきています。

こうした状況において、28年度は、地域福祉活動事業については、地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2015」の実施初年度として、様々な地域課題・生活課題に対応するために、計画に盛り込んだ取組みを行政や関係機関、地域団体等と協力しながら推進しました。

地域福祉事業　地域福祉活動計画と地域支え合いプランの計画的な実践

新たに策定した地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画 2015」の中で住民主体による地域福祉活動、災害時のボランティア活動、コミュニティソーシャルワーク実践を充実するための仕組みや体制整備に努めました。また、藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海の福祉センターで策定した「地域支え合いプラン」については、各福祉センターにおける地域福祉委員会で推進方法等を協議し、重点的な取組みについて関係団体と連携して実践しました。

生活支援事業　個別生活課題に関わる相談支援事業の充実

成年後見制度の啓発活動を進めるとともに、日常生活自立支援事や生活困窮者自立支援事業等における様々な個別生活相談に対し、鶴岡地域生活自立支援センターを中心に相談者の自立に向けた支援を行いました。また、生活困窮者自立支援事業では、就労支援の他に「子どもの生活・学習支援事業」の有り方について、市福祉課等関係機関と検討を行いました。

高齢者福祉事業　介護保険事業の充実

利用者一人ひとりのその人らしい生活を実現するため、心身状況を把握し、ケア関係者が共通の視点を持った支援に努めました。同時に、第二期事業経営計画の実施初年度として計画に盛り込んだ取組みを進めるとともに、介護報酬改定により事業収入が減じたことから、事業の一層の効率化を図りながら安定的な事業経営に努めました。

障害福祉事業　包括的・継続的な個別支援の充実

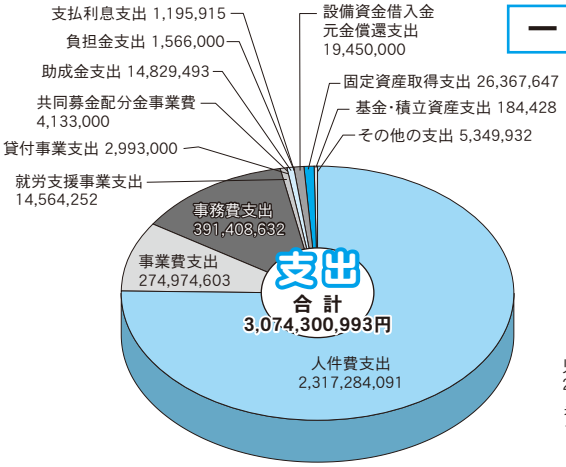
鶴岡市障害者相談支援センターの運営を通じ、障がい者が住み慣れた地域で安心した日常生活を送ることができるように、各支援機関と共に包括的・継続的な個別支援の充実に努めました。また、障がいに関わる研修会等を通じて障がい者理解の一助としました。

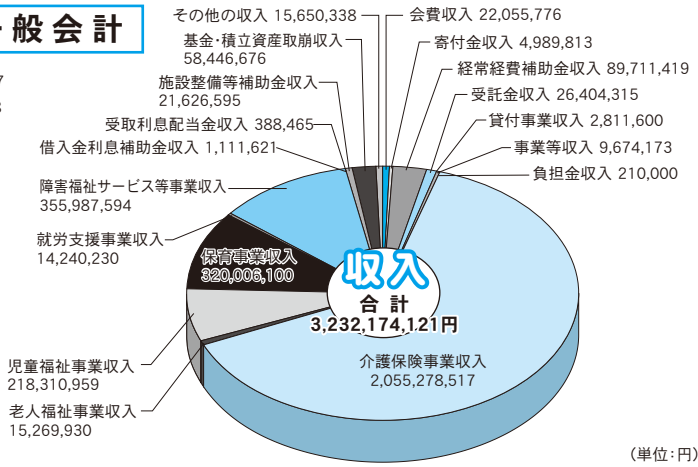
児童福祉事業　子育て支援、子どもの健全育成の充実

「子ども・子育て支援新制度」や「鶴岡市子ども・子育て支援事業計画」を踏まえた子育て支援や子どもの健全育成を図るとともに、保護者への情報提供や気軽に相談ができる環境づくりに努めました。

決算報告

一般会計





（単位：円）

福祉クイズ
①耳の不自由な人が運転する車に付けます
②体に障害のある人が使いやすい建物や施設についているマークです（こたえは次頁の右側）

情報掲示板

交流が朝日地域を活性化

朝日地域では「共に生き　互いに支え合う地域朝日」をテーマに、2016年に策定した【朝日地域支え合いプラン】に添った事業を展開しています。

この計画には「いつまでも元気に過ごせる地域づくり」の実現が重点目標の一つに掲げられており、朝日福祉センターでは、地域活性化を目的とした「つどう・つうじる・つながる・つむぐ」活動を支援しています。

熊出地区では環境美化の奉仕活動、健康づくり活動をとおした世代間交流事業に取組みました。老人クラブと子供会育成会、地域役員が参加し公民館の花植えをした後、輪投げ大会とお茶のみ交流を行いました。この活動により、互いを理解する気持ちが強化され、地域における見守り意識の向上に繋がりました。

いつまでも元気に過ごせる朝日地域を目指し、住民の笑顔が輝く地域活性化事業を継続支援していきます。

へった！へった!!
じじちゃん見で～♪♪

どげだ花咲ぐなだろ？
楽しみだの～

鶴岡市社会福祉協議会正規職員採用試験
（平成30年4月1日採用予定）

■受験資格

昭和38年4月2日以降に生まれた方で、下記の資格・免許を取得、研修を修了している方又は平成30年4月末日までに取得、修了見込みの方

○社会福祉士　○精神保健福祉士　○介護福祉士
○介護支援専門員
○保育士　○保健師　○看護師　○准看護師
○理学療法士　○作業療法士　○ヘルパー２級
○介護職員初任者研修

■採用予定数　若干名

■試　験　日

一次試験　作文試験　平成29年10月　1日（日）
二次試験　面接試験　平成29年10月22日（日）

■試 験 会 場

鶴岡市総合保健福祉センター　にこふる

■応募方法

○募集要項・応募書類の取得
- 事務局総務課職員係で交付します。
- 本会ホームページからダウンロードできます。
- 郵便で請求する場合は封筒に「職員募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒（角形２号、140円分切手貼付）を同封して、下記まで請求して下さい。

〒997-0033　山形県鶴岡市泉町5-30
社会福祉法人　鶴岡市社会福祉協議会
事務局総務課職員係

○募集期間
平成29年7月21日（金）～平成29年8月31日（木）
午前8時30分～午後5時15分
（土、日、祝日を除く）
※郵送の場合、8月31日（木）までの消印有効です。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成29年5月6日から～平成29年7月5日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
- 五十嵐　新一 様　10,000円
- 山形県退職公務員連盟鶴岡田川市部会 様　フェイスタオル各種389枚
- 匿名　10,000円
- 国際ソロプチミスト鶴岡 様　100,000円
- 難波　玉記 様　100,000円
- 鶴岡市中央公民館女性サークル連絡協議会 様　20,000円
- 山萬養鶏場　佐藤　萬治郎 様　子ども食堂へ/卵45個
- 本間　弘子 様　子ども用掛け敷き布団一式
- 鶴岡建設㈱親善ゴルフ大会 様　103,300円

◎朝日福祉センターへ
- 株式会社アサヒニイズマ 様　100,000円

◎温海福祉センターへ
- 田川建設労働組合 温海分会 様　10,000円
- 齋藤　正幸 様　50,000円

★老人デイサービスセンターふれあいへ
- 佐藤　好子 様　商品券500円×20枚

★とようら老人デイサービスセンターへ
- 三瀬婦人会 様　フェイスタオル42枚、雑巾34枚

★温海デイサービスセンター愛寿園へ
- 齋藤　ゆき 様　花瓶各種12個

★もみじが丘へ
- 温海温泉女性会 様　フェイスタオル50枚

おだがいさま
第71号
平成29年8月1日発行
発行部数　48,800部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ❤ふる２階）
TEL 0235-24-0053　FAX 0235-23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター　TEL 24-0053
藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

福祉クイズ　こたえ　②

【豆知識】障がいのあるすべての方々を対象にしている世界共通のシンボルマークです。車イスを利用している方々に限定しているものではありません。